

ステークホルダーエンゲージメント

マテリアリティ

ガバナンスの強化



主な活動内容

2022年度の活動

課題と2023年度の戦略

- 投資家へのIR活動の強化
- ステークホルダーへの情報開示の実施

- R&D説明会、海外IRの実施
- 統合報告書の発刊、ニュースリリースの適時開示

- 統合報告書やWebサイト情報開示の充実

ステークホルダーとのコミュニケーション

日本新薬は、さまざまなステークホルダーに支えられ事業を展開しています。そのため、「株主」「社員」「社会（地域社会、取引先など）」「顧客（患者さん、生活者の皆さま、医療関係者）」「環境」といったステークホルダーの声に耳を傾け、対話することが重要だと考えています。そうした対話を通じて得られた要望や意見を企業活動に反映することで、企業として成長し、社会に対して新たな価値を創造、提供していきます。

日本新薬のステークホルダー



ステークホルダーとの関わり

対話・手段/回数

ステークホルダー	関わり	対話・手段/回数
株主	資本コストを意識した経営により適正な利潤を確保し株主の皆さまへの利益還元を努めています。タイムリーかつ公平な企業情報の開示や積極的な対話を重視する公正な経営により建設的なコミュニケーションの促進に努め、株主・投資家の皆さまの期待に応えます。	<ul style="list-style-type: none"> 機関投資家、アナリストとの対話件数 約180件 証券会社主催イベント参加数 9件 決算説明会 (5月、11月) 決算カンファレンスコール (8月、2月) 株主総会 (6月) R&D説明会 (12月) 海外IR/ラージミーティング (9月)
社員	経営方針の「一人ひとりが成長する(社員)」に基づき、求める人材像「自ら考え行動する人」を育成することを目的とした教育・研修体制を整えています。社員一人ひとりが自ら考え行動し、積極的にチャレンジすることが自分自身の成長につながり、それが会社の成長にもつながると考えています。	<ul style="list-style-type: none"> 従業員向け研修/取締役との対話機会設置 従業員のストレスチェック/エンゲージメントサーベイ 内部通報制度/相談窓口
社会	企業市民として、社会とのコミュニケーションを密にし、交流を深めるとともに、社会貢献活動にも積極的に取り組みます。取引先との相互の信頼関係、健全かつ適正な関係を保持し、ともに成長することを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 食育に関する出前授業 山科植物資料館見学会130件、来場者数1,335名 はしる図書館 日本新薬きらきら未来ゴー! 参加イベント 27件/絵本貸し出し総数5,140冊 取引先へアンケート実施 (CSR/安定供給/サステナビリティ調達方針)
顧客	医薬品事業では、病気で困りの患者さんを最優先に考え、医療関係者から患者さんに適切に投薬していただくよう情報提供活動を行っています。機能食品事業では、製薬企業としての高い技術力を生かして、顧客ニーズに応える高付加価値製品を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> くすりに関する問い合わせ件数 計10,730件 (医療関係者8,732件、卸783件、一般消費者1,093件、他122件) Webサイトによる疾患啓発 Web市民公開講座 (肺高血圧症、筋ジストロフィー) 患者交流イベント 国内マラソン大会等へのブース出展
環境	地球環境に配慮した事業活動を行い、環境の保護・維持・改善に取り組み、環境との調和ある成長を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 山科植物資料館での植物啓発活動 京都の文化に関わる植物の保全活動

株主との対話

2022年度は決算説明会およびカンファレンスコールに加えて、株主・投資家向けR&D説明会を2部構成にて開催しました。第1部では、2022年11月より国内で販売を開始したドラベ症候群に伴うてんかん発作治療剤「フィンテプラ」に関連して「ドラベ症候群の治療と今後の展望」について専門医より説明いただきました。第2部では、核酸医薬品パイプラインの進捗状況に加え、注目度の高い次世代アンチセンス核酸、遺伝子治療、細胞治療の新規モダリティへの取り組みに関する発表を行いました。また、決算説明会や株主・投資家面談、海外IRおよびラージミーティングには、中井社長が出席しており、引き続き、定期的に株主・投資家の皆さまと対話し、短期および中長期における成長戦略を説明していきます。



WEB その他説明会

https://www.nippon-shinyaku.co.jp/ir/ir_library/other_presentation/

社会との対話

地域・社会の方との交流や、子どもたちが読書する機会を設けるため「はしる図書館 日本新薬きらきら未来ゴー!」を定期的に京都市内のイベントや児童館などに開催しています。3月26日に大阪で開催された、てんかんの疾患啓発イベントである「Purple Day」にも出展しました。「Purple Day」は、シンボルカラーである紫色の物を身につけるなどして、てんかん患者さんを応援理解を促す運動で、当日は当社の参加スタッフも紫色の服を着用して絵本や図鑑などの貸し出しを行いました。当社ではボランティアプログラムを利用することも可能であり、社員が気軽に参加することのできる社会貢献活動として、継続的に活動していきます。



WEB はしる図書館

日本新薬きらきら未来ゴー!
<https://kodomo-bungaku.jp/miraigo/>

顧客との対話

くすり相談室には主に電話やWebサイトの問い合わせフォームを通して、年間1万件以上の医薬品に関連する問い合わせが寄せられます。日々寄せられる問い合わせに対して、AIを用いた最新の電話対応システムなどITを駆使してお答えし、医薬品の適正使用の推進に努めています。また、ここでいただいた情報やご意見は速やかに関連部署に伝え、品質の改良や安全性の向上に生かしています。近年ではWebサイトの充実を図り、さまざまな情報を能動的に入手していただけるようにしています。今後も、患者さんやそのご家族、医師、薬剤師、そのほかのメディカルの皆さんなど、広くさまざまなステークホルダーから信頼されるよう迅速かつ正確に対応することを第一に心掛けていきます。



WEB ご意見・お問い合わせ

<https://www.nippon-shinyaku.co.jp/inquiry/>